

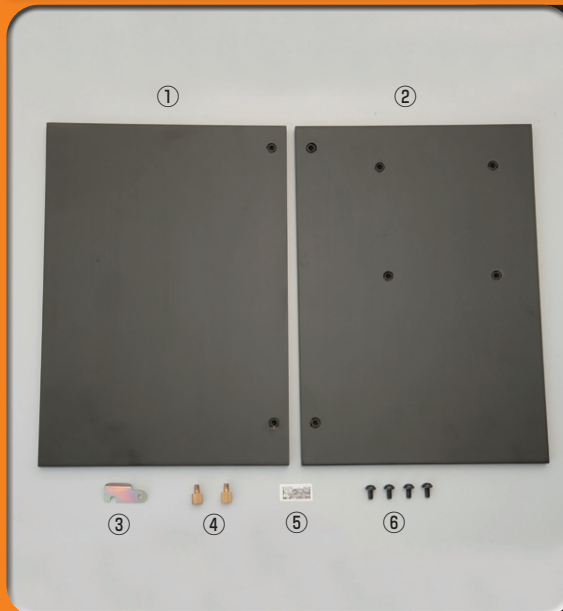
今号の作業

リヤフェンダーにステッカーを貼り、 ベースフレームの組み立てを開始する



今号では、35号で組み立てたリヤフェンダーにステッカーを貼り付ける。このステッカーは「タイヤ・コション」で、装着するタイヤの仕様を記載したものだ。また、今回からベースフレームの組み立て作業も開始する。52、54、55号で提供したベース用パーツを用意しよう。

今号のパーツ



- ①ベースフレーム7×1
- ②ベースフレーム9×1
- ③メタルクリップD×1
- ④ツマミ付きビス×2
- ⑤リヤフェンダー用ステッカー×1
- ⑥4×9mm段付きビス×4

※②は今回使用しないので、大切に保管しておこう。

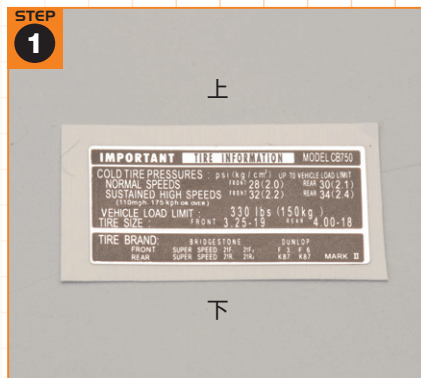
用意するもの

- ・水を入れられる小さめの容器
- ・中性洗剤(台所用洗剤で可)
- ・ペーパータオル(またはティッシュペーパー)
- ・リヤフェンダー(35号で組み立てたもの)
- ・ベースフレーム1(52号で提供したもの)
- ・ベースフレーム5(54号で提供したもの)
- ・ベースフレーム3(55号で提供したもの)
- ・メタルクリップA×1(52号で提供したもの)
- ・メタルクリップE×2(52、54号で提供したもの)
- ・メタルクリップC×1(55号で提供したもの)
- ・4×9mmワッシャー付きビス×10(52、54、55号で各4本ずつ提供した合計12本のうちの10本)
- ・ビニール袋(パーツが入っていた袋で可)

使用する道具

- ・+(プラス)ドライバー(2番)
- ・ピンセット

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様が異なる場合があります。



⑤リヤフェンダー用ステッカーの向きを確認しよう。ステッカーに印刷されている文字は非常に小さく、上下が判別しにくい。貼り付けるときに間違えないよう、写真と照らし合わせて確認しよう。



小さめの容器に水を入れ、そこに中性洗剤を少量加えた「せっけん水」を用意する。ペーパータオル(またはティッシュペーパー)も用意しておこう。



折り畳んだペーパータオルに「せっけん水」を付け、35号で組み立てたリヤフェンダーに塗布する。塗布する位置は写真を参考にしよう。



ピンセットを使ってリヤフェンダー用ステッカーを「せっけん水の上」に載せる。この段階では強く押さえず、ピンセットを使って貼り付ける位置(写真参照)を調整する。

STEP
5

ステッカーの位置が決まったら、ステッカーの中央部分を押し、乾いたペーパータオルを真上から押し付けて、ステッカー下の水分を吸い取り、ステッカーをしっかりと貼り付ける。

今号の完成



これでリアフェンダーにステッカーを貼る作業は完了だ。「せっけん水」を使うテクニックは、実車の世界でも一般的に使われるものなので、覚えておくといいだろう。組み立てたパーツは、次回の作業に備えて大切に保管しておこう。

ディスプレイベースの組み立て

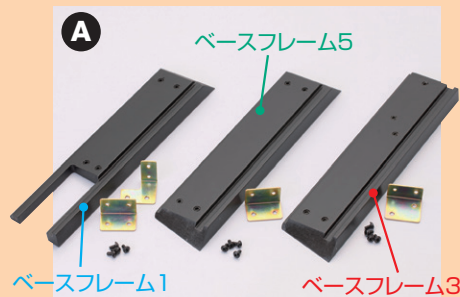
4×9mm
ワッシャー付きビス



今号で提供の
4×9mm段付きビス

段が付いている

今号で提供の「4×9mm段付きビス」と、これまでに提供してきた「4×9mmワッシャー付きビス」は間違えやすいので注意しよう。4×9mm段付きビスはアタマの下が細く、段が付いている。



A

ベースフレーム5

ベースフレーム1

ベースフレーム3

52号、54号、55号で提供した各ベースフレームおよび各当該メタルクリップ、4×9mmワッシャー付きビス(計12本のうち10本)と、今号提供の⑥4×9mm段付きビス4本を用意し、写真と照らし合わせて確認しよう。なお、52号で提供したパーツのうち、「連結ピン」は使用しないので大切に保管しておこう。



B

4×9mm
ワッシャー付きビス

52号で提供したベースフレーム1・裏面の写真の位置に、メタルクリップEを写真の向きでセットし、4×9mmワッシャー付きビスを2本使って取り付け。なお、以降の工程で使用するドライバーのサイズは「2番」で、ビスは軽くねじ込んで「仮組み状態」にすること。



C

メタルクリップEの取り付け加減は、手で動かしたときにカタカタと動く程度にする。動かない場合はビスを少し緩めて調整しよう。以降の工程で取り付けるすべてのメタルクリップも同様だ。



D

4×9mm
段付きビス

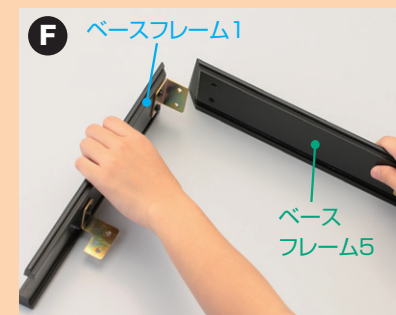
ベースフレーム1の裏面・写真の位置に、⑥4×9mm段付きビスを2本使って、メタルクリップAを写真の向きで取り付ける。このときも、メタルクリップAがカタカタ動く程度に調整する。



E

4×9mm
ワッシャー付きビス

54号で提供したベースフレーム5の裏面・写真の位置に、ワッシャー付きビスを2本使い、メタルクリップEを取り付ける。ビスの締め込み加減は、メタルクリップが少し動く程度だ。



F

ベースフレーム1

ベース
フレーム5

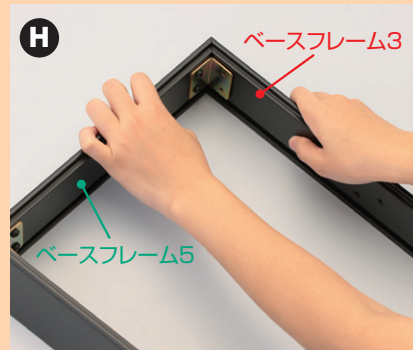
ベースフレーム1と5を写真のように組み合わせる。



G

4×9mm
ワッシャー付きビス

ワッシャー付きビスを2本使い、ベースフレーム1と5を連結する。ビスは緩めに締め込もう。

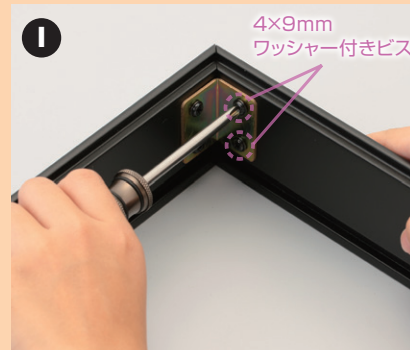


H

ベースフレーム3

ベースフレーム5

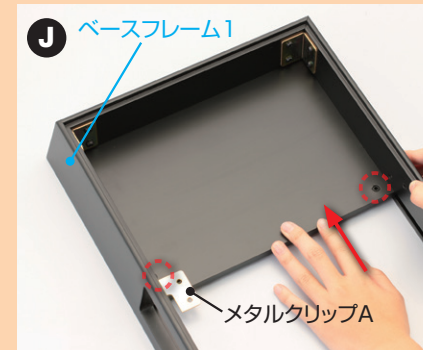
ベースフレーム5のもう一方の端に、55号で提供したベースフレーム3を組み合わせる。



I

4×9mm
ワッシャー付きビス

ワッシャー付きビスを2本使い、ベースフレーム5と3を連結する。ビスは緩めに締め込むようにしよう。



J

ベースフレーム1

メタルクリップA

①ベースフレーム7を用意し、ベースフレーム1、3、5の内側の溝へ、写真のようにスライドさせながら差し込む。向きは、2カ所のビス穴(写真の赤丸)が手前になるようにする。なお、ベースフレーム1に取り付けたメタルクリップAに当たって差し込めない場合は、4×9mm段付きビスを緩め、メタルクリップAを上方向にずらすことで対処できる。



K

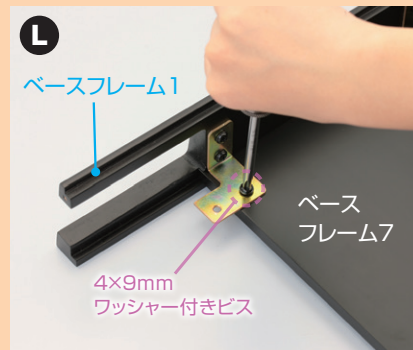
ベース
フレーム3

4×9mm
段付きビス

4×9mm
ワッシャー付きビス

ベースフレーム7

メタルクリップCを写真の向きでセットし、ベースフレーム3とベースフレーム7を連結する。使用するビスは、ベースフレーム3への取り付けが4×9mm段付きビス2本、7への取り付けが4×9mmワッシャー付きビス1本なので、間違えないように。



L

ベースフレーム1

ベース
フレーム7

4×9mm
ワッシャー付きビス

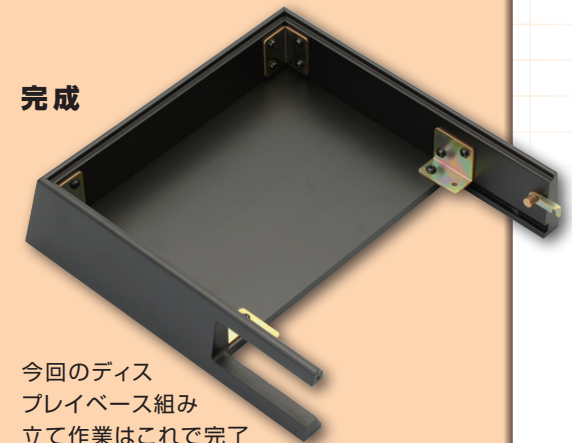
写真に示したメタルクリップAのビス穴1カ所にワッシャー付きビスをねじ込み、ベースフレーム7とベースフレーム1を連結する。



M

③メタルクリップDのビス穴に④ツマミ付きビスの1本を差し込み、ベースフレーム3の裏面・写真の位置のビス穴へ軽くねじ込む。

完成



今回のディスプレイベース組み立て作業はこれで完了だ。残りの作業は、右半分のパーツがそろってから行うので、組み立てたベースは大切に保管しておこう。また、使用しなかったツマミ付きビス(1本)は、油性ペンで号数を記入したビニール袋に入れ、紛失ないように保管しよう。